

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 大嶋真由子さん

◆四つのテスト 柳龍一郎さん

◆ご来訪ロータリアン

# 長崎西RC 創立40周年記念式典例会



## ◆会長挨拶 中西祥之会長

皆さん、こんにちは。本年度、長崎西ロータリークラブの会長を務めております中西と申します。本日は、大変ご多忙の中、長崎市長鈴木史朗様、国際ロータリー第2740地区ガバナー石坂和彦様を始め、多数のご来賓の方々にご臨席賜り、心より御礼申し上げます。また、我々の友好クラブである神奈川県藤沢南ロータリークラブからも、会長の入沢様を始め多数の皆様にお越しいただいております。誠にありがとうございます。さて、我が長崎西ロータリークラブの定款によりますと、ロータリーの目的は「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」とされています。すなわち、「奉仕の理念」の実践こそがロータリークラブの目的であると思います。では、「奉仕」とはどのような意味なのでしょうか？改めて、調べてみました。広辞苑によると、「奉仕」とは、「献身的に国家・社会のために尽くすこと」とされています。また、他の辞典では、「奉仕」とは、「利害を離れて国家や社会などのために尽くすこと」とか「見返りを求めずに、社会、集団、他人のために尽くすこと」などと書かれていました。つまり、「奉仕」とは、見返りを求めずに他者に尽くすことである、と私は理解しました。長崎西ロータリークラブでは、児童養護施設であるマリア園の毛布クリーニング、米山記念奨学生の受け入れ、海星高等学校のインターアクト活動の支援などを毎年行い、昨年までの3年間は、一人親家庭を支援している団体への寄贈を行ってまいりました。本年度は、新たに、乳児院への遊具の寄贈や長期入院している子どもやその家族を支援する団体である長崎ペンギンの会への寄付を行う予定としています。このような、社会に対する奉仕がロータリーの活動として最も重要であり、これからも様々な社会奉仕を実践していきたいと思っております。ただ、見返りを求めずに他者に尽くすこと、という奉仕について改めて考えてみると、奉仕活動の対象である「他者」とは、自分以外の人ということであり、最も身近な「他者」とは、家族なのだと思います。「社会」に対して奉仕をする前に、まずは「家族」に奉仕する、「家族」のために尽くす、「家族」を大事にするということから始めていくべきであり、それこそが奉仕の理念の実践の始まりであると思っております。会長になってから、こんなことを考えるようになり、少し家族に優しくなったような気がしています。現在、長崎西ロータリークラブは、チャーターメンバー1名を含む35名の会員がおりますが、個々が、まずは家族を大事にして、その上で会員相互の友情を深め、社会奉仕の理念を実践してまいりたいと思っております。これまで40年間、クラブとして発展してまいりましたのは、ここにお集まりの皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。これからも、我が長崎西ロータリークラブをどうぞよろしく願いいたします。本日は、お時間の許される限りご参加いただき、楽しい時間をお過ごし頂けると幸いです。本日は、大変お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

◆期首会員数	35名	◆入会者	0名	◆退会者	0名	◆現在	35名
◆10/11例会出席	25名	◆免除者出席	8名	◆欠席	10名	◆出席率	75.76%

# 長崎西RC創立40周年記念祝賀会



ニコニコ箱	目標 1,200,000円	10/8	16,000円	累計	273,000円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	10/8	5,000円	累計	63,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	10/8	25,000円	累計	71,000円

◆会長 中西祥之 幹事 久田松春樹 ◆創立：昭和 59 年 10 月 2 日 ◆事務局住所：長崎市東古川町 4 - 16 フジビル 202  
 ◆事務局連絡先：Tel:095-828-1091 Fax:095-824-5520 ◆e-mail:nwrc2740@ngs2.cncm.ne.jp  
 ◆例会：【火】12時30分～13時30分 ◆例会場：ホテルニュー長崎 Tel:095-826-8000  
 ◆作成：公共イメージプロジェクト委員会/クラブ会報委員会 ◆委員長：野崎地平 ◆編集：事務局 中田久美子